

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成29年8月31日(2017.8.31)

【公開番号】特開2015-78352(P2015-78352A)

【公開日】平成27年4月23日(2015.4.23)

【年通号数】公開・登録公報2015-027

【出願番号】特願2014-185692(P2014-185692)

【国際特許分類】

C 08 J	3/12	(2006.01)
G 03 G	9/087	(2006.01)
C 08 F	2/44	(2006.01)
C 08 F	283/00	(2006.01)
C 08 F	2/18	(2006.01)
C 08 F	291/00	(2006.01)

【F I】

C 08 J	3/12	Z
G 03 G	9/08	3 2 1
G 03 G	9/08	3 2 5
G 03 G	9/08	3 8 4
G 03 G	9/08	3 3 1
C 08 F	2/44	C
C 08 F	283/00	
C 08 F	2/18	
C 08 F	291/00	

【手続補正書】

【提出日】平成29年7月24日(2017.7.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

結晶性樹脂(A)と非結晶性樹脂(B)を含有する樹脂粒子(I)であって、結晶性樹脂(A)が下記〔条件1〕～〔条件5〕を満たし、非結晶性樹脂(B)が下記〔条件6〕～〔条件7〕を満たす樹脂粒子。

〔条件1〕融解熱の最大ピーク温度(T_aA)：40～100

〔条件2〕軟化温度とT_aAの比(軟化温度/T_aA)：0.8～1.2

〔条件3〕G'(T_aA+20) = 1×10²～5×10⁵ [Pa]

[G'(T_aA+20) : (T_aA+20)における貯蔵弾性率]

〔条件4〕G''(T_aA+20) = 1×10²～5×10⁵ [Pa]

[G''(T_aA+20) : (T_aA+20)における損失弾性率]

〔条件5〕(T_aA±20)の温度範囲内に

Log G''(X+20) - Log G''(X) > 2.5となる溶融開始温度X
が存在する。

[G''(X+20) : (X+20)における損失弾性率、G''(X) : X
における損失弾性率]

〔条件6〕融解熱の最大ピーク温度(T_aB)：35～100

〔条件7〕 芳香族含有率：25～70重量%

【請求項2】

結晶性樹脂(A)の芳香族含有率と非結晶性樹脂(B)の芳香族含有率との差(芳香族含有率差)の絶対値が40～65重量%である請求項1記載の樹脂粒子。

【請求項3】

結晶性樹脂(A)と非結晶性樹脂(B)の比率(重量比率(A)/(B))が0.05以上9.0未満である請求項1又は2記載の樹脂粒子。

【請求項4】

結晶性樹脂(A)が、ポリエステル樹脂、ポリウレタン樹脂、ポリウレア樹脂、ポリアミド樹脂、ポリエーテル樹脂、アクリル樹脂及びそれらの複合樹脂からなる群から選ばれる1種以上である請求項1～3のいずれか記載の樹脂粒子。

【請求項5】

結晶性樹脂(A)が結晶性部(b)と非結晶性部(c)とで構成されるブロック樹脂であり、(b)の重量平均分子量が2000～80000であり、(A)中の(b)の割合が50重量%以上である請求項1～4のいずれか記載の樹脂粒子。

【請求項6】

結晶性部(b)が、ポリエステル樹脂、ポリウレタン樹脂、ポリウレア樹脂、ポリアミド樹脂、ポリエーテル樹脂及びそれらの複合樹脂からなる群から選ばれる1種以上である請求項5記載の樹脂粒子。